

2024年3月12日

十山株式会社
株しずおかフィナンシャルグループ

十山株が保有する「井川社有林」をJ-クレジット創出プロジェクトに登録

特種東海製紙グループの十山株式会社(代表取締役社長 田中秀紀)は、しずおかフィナンシャルグループの静銀経営コンサルティング株式会社(代表取締役社長 山越良二)および静岡県からの支援を受けて、南アルプス地区(静岡市葵区)に保有する井川社有林(約24,430ha)の一部が、本日、J-クレジット創出プロジェクトに登録される予定です。

森林由来のJ-クレジット制度は、適切な施業を行っている林業事業者の森林経営活動を環境価値として国が認証する制度です。認証されたクレジットは、CO₂を排出する企業などが購入し、カーボンオフセットに利用することができます。

今後も、地域の脱炭素化の実現に向けて、環境資源の活用による森林クレジットの創出など、持続可能な地域社会づくりに連携して取り組んでまいります。

1. クレジットの概要について

プロジェクト名	森林保全による南アルプス自然環境保護プロジェクト
プロジェクト実施地	井川社有林(静岡県静岡市葵区)
プロジェクト面積	1,161ha(人工林83ha、天然生林1,078ha)
創出クレジット量(見込)	24,615トン(対象期間16年)、1,538トン(年平均)
その他	<ul style="list-style-type: none">・保有する井川社有林の森林総面積24,430ha(うち森林経営計画策定面積21,916ha)のうち、J-クレジット制度に登録可能な人工林および天然生林である1,161haが対象となります。 ※プロジェクト面積に占める天然生林の割合が約93%にのぼるケースは非常に稀な案件となります。・森林総面積の約80%を占める天然生林において、環境を保全するための保安林指定林を増やし、より多くの森林を適切に管理することで森林資源の有効活用、生物多様性への貢献をめざします。・今後、J-クレジット創出量が増加した場合、より多くの環境価値を地域社会に提供できます。

2. 今後の取り組みについて

- 十山および親会社である特種東海製紙では、これまで長きにわたり、環境保全や登山道の維持管理に努めるとともに、世界的に気候変動などの環境問題が深刻化し、天然林の減少や劣化が進むなか、適切な森林経営の実施に取り組んできました。
- 今回、認証される見込のJ-クレジットは、井川社有林における森林の施業(間伐等)および森林の保護(巡視等)を通じて、森林や貴重な生物を保護し、共生していくための取り組みが環境価値として認められたものです。
- 今後は、多くの企業等に森林の多面的機能をはじめとする本質的な価値を伝えながら、創出されるクレジットの地域内における有効活用をめざします。
- また、来年度以降も両社で連携しながら、森林保全活動の強化に取り組むことで、クレジット創出量の増加を図り、地域社会の発展とカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。